

意見交換会実施報告書

令和 7 年 9 月 9 日

裾野市議会議長 様
広報広聴委員会委員長 様

報告者 木村 典由

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和 7 年 8 月 18 日 18 時 30 分～20 時 00 分
開催場所	富岡支所 2 階 大会議室
代表者 (委員会名)	産業建設水道委員会
出席議員	木村典由 杉山茂規 賀茂博美 佐野利安 勝又豊 勝又利裕
参加市民数 (団体名)	6 人 (裾野市観光協会)
実施 内容	議会報告 産業建設水道委員会より、市の観光振興施策や進行中の事業計画、委員会としての取り組み状況について説明を行いました。観光資源の活用状況やイベント実施体制、道の駅構想などについて現状報告し、課題や今後の方向性を共有しました。
	意見交換 観光イベントの担い手不足、ボランティア確保策、若手育成、イベントの集約化や広域連携の可能性、観光協会体制の強化、道の駅を活用した情報発信・観光誘客・防災拠点化など、多岐にわたる論点について活発に意見交換を行いました。

2. 市民の質問・意見等

質問と回答など	観光協会からは、まずイベント運営における担い手不足と高齢化による人材確保の難しさが大きな課題として示されました。現状では、同じメンバーに負担が集中しており、若手ボランティアや学生の参画促進策を市と協力して進める必要性が強調されました。また、イベントの分散により集客力が弱まっているため、時期の近いイベントは統合を検討すべきとの意見が多数出されました。さらに、近隣市町と連携した広域観光戦略の必要性が提案され、特に富士山活用協議会との連携強化が重要であるとの指摘もありました。加えて、現在計画中の道の駅については、単なる物販拠点ではなく、観光案内・体験型観光・防災拠点を兼ね備えた複合施設として整備すべきとの意見が出されました。観光協会事務局の移転、英語対応スタッフの配置、SNS 活用による情報発信強化など、観光拠点としての機能拡充を求める声が多く、こうした意見は今後の観光施策を検討する上で参考とすることとなりました。
---------	--

--	--